

学校いじめ防止基本方針（概要版）

令和元年12月1日

はじめに

いじめは、校種を問わず、全ての児童に関係する問題です。いじめ防止等の対策は、一人一人の児童が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなることを目指して行われなくてはなりません。

また、いじめは、いじめを受けた児童の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものです。

本校は、本校の児童の尊厳を保持するため、関係機関との連携の下、いじめの問題の克服に向けて取り組むよう、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策を総合的かつ効果的に推進するために、学校いじめ防止基本方針を策定しています。

I いじめの防止等の対策について以下の基本理念で取り組みます

- 1 いじめの防止等の対策は、一人一人の児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、いじめが行われなくなることを目指して行われなければならない。
- 2 全ての児童生徒がいじめを行わず、いじめを意識しながら放置することがないように、いじめが、いじめられた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童生徒が十分に理解できるようにしなければならない。
- 3 いじめの防止等の対策は、いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、市、市教育委員会、学校、地域住民、家庭等の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

いじめの定義とは・・・（いじめ防止対策推進法より）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

この定義を踏まえた上で、いじめの判断は、表面的・形式的に行うのではなく、いじめを受けた児童の立場に立って行っていきます。いじめの認知は特定の教職員のみによることなく、組織で行っていきます。

具体的ないじめの態様は、以下のようなものがあります。

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。仲間はずれ、集団による無視をされる
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- 金品をたかられる、金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる 等

いじめが重大な事態（生命の危機、不登校の要因等）に至った場合、教育的な配慮や被害者の意向に配慮した

上で、必要があれば警察と連携した対応も取ります。
上記の他、「学校いじめ防止基本方針」には以下の点について記載しています。

- いじめの防止のための措置
 - ・早期発見のための措置
 - ・いじめの発見・通報を受けたときの対応
 - ・いじめ対策年間指導計画
 - ・組織的な指導体制
- 重大事態発生に係る調査
 - ・調査の方法
 - ・調査結果の提供及び報告
- いじめ発見のためのチェックシート等、資料 等

詳しくは本編を御覧いただきたいと思います。

〈資料〉いじめ発見のためのチェックシート（保護者用）

	チェック項目	大丈夫	心配
朝の様子	朝、なかなか起きてこない。		
	疲れた表情である。またはぼんやりとしていたりふさぎこんでいたりする。		
	いつもと違って、朝食を食べようとしない。		
	登校時間が近づくと、体調不良を訴える。		
	いつも特定の友達を迎えに来る。		
登下校	友達の荷物を持たされている。		
	一人で登校（下校）するようになる。		
	遠回りして登校（下校）するようになる。		
	途中で家に戻ってくる。		
帰宅時	理由のはっきりしない衣服の汚れや破れがある。		
	理由のはっきりしないすり傷やあざがある。		
	すぐに自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない。		
	帰宅時刻が遅くなる。		
	学校の話をしなくなる。		
	外出したがる。		
友人関係	学用品や自転車、持ち物が壊れていたり、落書きがあったりする。		
	特定の友達に対する言葉遣いが不自然でいていぬいである。		
	友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいた友達と遊ばなくなったりする。		
	友達から頻繁に電話やメールがあり、それを気にする。		
	遊んでいるとき、友達から横柄な態度をとられている。またはとっている。		
家庭の様子	いじめの話をするとう強く否定する。		
	親と視線を合わせない。		
	家族と話をしなくなる。		
	親に反抗したり、兄弟姉妹やペットに八つ当たりしたりする。		
	お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出したりするようになる。		
	部屋に閉じこもりがちになる。		
	部屋にある持ち物がなくなっていく。		
	学習への意欲とともに成績が下がってきた。		
	食欲がなくなってきた。		
	ため息をつくことが多い。		
なかなか寝付けない。			

※お子さんの様子で気になる点等は遠慮なく学校へ御相談ください。